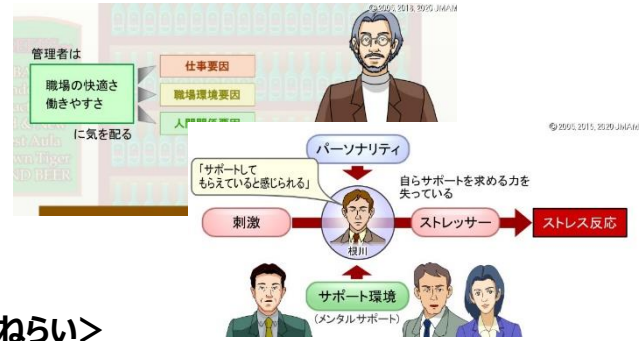


マネジャーのための職場のメンタルヘルスケア基本コース

**メンバーがいきいきと仕事のできる環境づくりのために、
メンタルヘルスケアの側面で、管理者としてできることを学びます**

メンタルヘルスケアへの取り組みは、企業の社会的責任（CSR）の一つと位置づけられ、継続することによって企業価値を高めると捉えられています。本コースでは、厚生労働省の「ラインによるケア」の指針に沿って、管理者が職場（チーム）全体で相互に支援する雰囲気づくり、「メンタル・サポートの風土づくり」をするために、「できること」「すべきこと」を考えます。職場のメンタルヘルスケアを行ううえで知っておくべき予防策から、復職までの基礎知識を習得します。



<概要>

受講対象者	管理者（新任・既任）およびその候補者、リーダー層
監修	●武藤 清栄（東京メンタルヘルス 所長）
仕様	●想定学習時間：5時間 ●最短実行時間：60分 ●テスト数：2（第1回：全20問、第2回：全20問）

<本コースのねらい>

- 職場（チーム）のメンタル・サポートの環境づくりのために、メンタルヘルス不調への対策だけでなく、前向きなコミュニケーションにつなげる視点を盛り込んで解説します。
- 職場で起こりがちな事例を取り上げて解説することにより、“厳しい環境で働き続ける”ことへの折り合いの付け方に、管理者としてどう関わるか、リアリティをもって学習できます。

<コースカリキュラム>

第1章 職場のメンタルヘルスケアが求められているわけ 予防－働きやすい職場づくり	1-1 働きやすい職場をつくる 1-2 日常のマネジメントで予防する 1-3 あなたの職場をセルフ・チェック
第2章 日常の業務のなかでできるメンタルヘルスケア 対処－変化に注目する	2-1 心の健康を守るために－「気づく」 2-2 早期発見・早期対応のアンテナを張る－「声かけする」 2-3 問題解決できなくても早期対応できる－「話を聴く」 2-4 自分のメンタルヘルスをセルフ・チェック
第3章 休業から復職までのメンタルヘルスケア 対処－支援する	3-1 休業中の支援をする 3-2 職場復帰にあたっての支援をする